**JISA白書部会『情報サービス産業白書2019年版用・事業者アンケート「情報サービス産業動向調査」』**

■ ご回答にあたって ■

|  |
| --- |
| 【調査の目的】本調査は、「情報サービス産業白書2019年版（本年6月刊行予定）」の編纂に当たり、当業界の現状と今後の動向等を的確に把握し、今後の会員各位の経営戦略に役立てるため実施します。 【調査の対象】調査対象企業：JISA法人正会員企業 【回答要領】本調査は「企業」に対する調査です。個社のデータを外部に公表することはございません。ご回答が難しい設問は無回答のまま、次の設問へお進みください。【調査実施期間】平成31年2 月18日（月）まで 【その他】本調査に関連するアンケート調査として「ITエンジニアのワクワクする働き方に関する調査」「取引形態と働き方改革調査（企業調査）」を実施しておりますが、調査項目を極力簡素化するとともに内容の正確性を図るため、一部の調査項目（企業概要等）について各調査間での連携を行う予定です。【問い合わせ先】本件に関しまして、ご不明な点ご質問等ございましたら下記までお問い合わせください。 (一社)情報サービス産業協会　広報サービス部　田畑・小泉E-Mail：wp@jisa.or.jp　TEL:03-5289-7651　FAX:03-5289-7653 |

ご回答者（ご回答内容についての照会先）

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名 |  |
| ご担当者 | お名前　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL : 　　　（　　　　） |
| 部署・役職名 |
| E-mail |  |

# 貴社の概要についてお伺いします

## 問1．貴社の直近年度の「a.売上高」「b.経常利益」「c.正規従業員数」をお選びください。

## ※連結ではなく、貴社単体としてご回答下さい。

a. 売上高（一つだけ）

□　①5億円未満 □　②5億～10億円未満 □　③10億～20億円未満

□　④20億～50億円未満 □　⑤50億～100億円未満 □　⑥100億～200億円未満

□　⑦200億～500億円未満 □　⑧500億円以上

b. 経営利益（一つだけ）

□　①赤字 □　②0～1,000万円未満 □　③1,000万円～5,000万円未満

□　④5,000万円～1億円未満 □　⑤1億～5億円未満 □　⑥5億～10億円未満

□　⑦10億～50億円未満 □　⑧50億～100億円未満 □　⑨100億円以上

c. 正規従業員数（一つだけ）

□　①50人未満 □　②50～100人未満 □　③100～200人未満

□　④200～500人未満 □　⑤500～1,000人未満 □　⑥1,000～2,000人未満

□　⑦2,000～5,000人未満 □　⑧5,000人以上

## 問2．貴社では、直近年度の業況をその前年度と比較してどのように判断していますか。

「a. 売上高」、「b.経常利益」のそれぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

a. 売上高（一つだけ）

□　①大きく増加（＋10％超） □　②やや増加（＋5～＋10％） □　③ほぼ横ばい（±5％以内）

□　④やや減少（－5～－10％） □　⑤大きく減少（－10％超）

b. 経常利益（一つだけ）

□　①大きく増加（＋10％超） □　②やや増加（＋5～＋10％） □　③ほぼ横ばい（±5％以内）

□　④やや減少（－5～－10％） □　⑤大きく減少（－10％超）

## 問3．貴社の資本系列を一つお選びください。（一つだけ）

□　①メーカー系 □　②通信系 □　③ユーザ系

□　④独立系 □　⑤その他

## 問4．貴社の主要顧客の業種を教えてください（いくつでも）

* ①農林漁業 □　②鉱業 □　③建設業
* ④製造業（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾒｰｶ関係） □　⑤製造業（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾒｰｶ以外） □　⑥電気・ガス・熱供給・水道業
* ⑦運輸業 □　⑧通信業 □　⑨卸売・小売・飲食店
* ⑩金融・保険業 □　⑪不動産業 □　⑫情報サービス業
* ⑬その他サービス業 □　⑭公務その他

## 問5．貴社の主力の取引でのポジションを教えてください。（一つだけ）

* ①ユーザの情報子会社
* ②元請（ユーザまたはユーザの情報子会社との取引が最も多い）
* ③元請の情報子会社
* ④中間下請１（元請または元請の情報子会社との取引が最も多い）
* ⑤中間下請２（元請または元請の情報子会社との取引が最も多くはなく、かつ再委託することが少なくない）
* ⑥最終下請（元請または元請の情報子会社との取引が最も多くはなく、かつ再委託することは少ないか全くない）

## 問6．貴社の主要顧客（売上ベース）の規模として最もよく当てはまるものをお教えください（一つだけ）

* ①大企業（従業員数1000人以上）が多い
* ②中堅企業（300～999人）が多い
* ③中小企業（～299人）が多い

## 問7．貴社が相対している顧客の部署についてお教えください。

## 貴社の顧客について、「最も相対する頻度の高い部署」（件数ベース）をお教えください（一つだけ）貴社が相対している顧客の部署についてお教えください。

* ①情報システム部門 □　②マーケティング・営業部門
* ③研究開発部門 □　④本社・スタッフ部門
* ⑤その他（具体的に）

|  |
| --- |
|  |

## 貴社が相対している顧客の部署それぞれの、「ここ数年の相対する頻度の増減傾向」をお教えください。（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～5の各項目について、①～⑥から該当するものを１つ選び、回答欄に番号を記入してください

* 1. 大きく増加した
	2. やや増加した
	3. ほぼ変化なし
	4. やや減少した
	5. 大きく減少した
	6. この部署とは相対していない

### 情報システム部門　　　 回答欄【　　　　】

### マーケティング・営業部門　　　 回答欄【　　　　】

### 研究開発部門　　　 回答欄【　　　　】

### 本社・スタッフ部門　　　 回答欄【　　　　】

### その他 　　　 回答欄【　　　　】

　　「その他」とはどのような部署か具体的にお教えください。

|  |
| --- |
|  |

## 問8．貴社が顧客から委託されている業務は主にどのフェーズですか（いくつでも）

* ①システム戦略策定 □　②システム化計画 □　③要求分析
* ④基本設計 □　⑤詳細設計・製作（開発） □　⑥結合テスト
* ⑦総合テスト □　⑧運用・保守 □　⑨その他

## 問9．貴社が行っているハードウェア関係（組み込み系）のソフトウェア開発について、顧客企業への提供機会の増減（1年前との対比）をお教えください（一つだけ）

* ①大きく増加 □　②やや増加 □　③ほぼ横ばい
* ④やや減少 □　⑤大きく減少 □　⑥行っていない

# デジタルトランスフォーメーション（DX)に対する、貴社の取組状況やお考えについてお伺いします

問10．貴社の顧客へのサービス提供（開発、運用等）における、“新しい情報技術”の利用状況についてお伺いします。

a. 貴社が以下の“新しい情報技術”を用いる機会は、４～５年前と比較して増えましたか。（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～13の各項目について、①～⑥から該当するものを１つ選び、回答欄に番号を記入してください

1. 大幅に増加した
2. やや増加した
3. ほぼ変わらなかった
4. やや減少した
5. 大幅に減少した
6. この情報技術を用いる機会はなかった

### スマートフォン・タブレット端末　　　 回答欄【　　　　】

### ウェアラブル端末（腕時計型・眼鏡型など） 回答欄【　　　　】

### ソーシャルネットワークサービス（SNS) 回答欄【　　　　】

### メッセンジャーアプリ（チャット・通話） 回答欄【　　　　】

### クラウドコンピューティング（IaaS, PaaS, SaaS） 回答欄【　　　　】

### ビッグデータ分析　　　 回答欄【　　　　】

### AI・機械学習 回答欄【　　　　】

### ロボティックス 回答欄【　　　　】

### IoT/M2M 回答欄【　　　　】

### センサー技術 回答欄【　　　　】

### ブロックチェーン 回答欄【　　　　】

### RPA 回答欄【　　　　】

### VR・AR・MR 回答欄【　　　　】

b．貴社が以下の“新しい情報技術”を用いる機会は、今後４～５年の間に増えると思いますか。（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～13の各項目について、①～⑥から該当するものを１つ選び、回答欄に番号を記入してください

1. 大幅に増加するだろう
2. やや増加するだろう
3. ほぼ変わらないだろう
4. やや減少するだろう
5. 大幅に減少するだろう
6. この情報技術を用いる機会はないだろう

### スマートフォン・タブレット端末　　　 回答欄【　　　　】

### ウェアラブル端末（腕時計型・眼鏡型など） 回答欄【　　　　】

### ソーシャルネットワークサービス（SNS) 回答欄【　　　　】

### メッセンジャーアプリ（チャット・通話） 回答欄【　　　　】

### クラウドコンピューティング（IaaS, PaaS, SaaS） 回答欄【　　　　】

### ビッグデータ分析　　　 回答欄【　　　　】

### AI・機械学習 回答欄【　　　　】

### ロボティックス 回答欄【　　　　】

### IoT/M2M 回答欄【　　　　】

### センサー技術 回答欄【　　　　】

### ブロックチェーン 回答欄【　　　　】

### RPA 回答欄【　　　　】

### VR・AR・MR 回答欄【　　　　】

問11．貴社のDX系の案件の実績について、最も当てはまるものを一つだけお選びください。（一つだけ）

* ①収益確保を狙った案件の実績がある
* ②経験獲得を狙ったパイロット案件の実績がある
* ③案件の初獲得に向け提案活動を展開している
* ④提案活動はしていないが引き合いを受けた
* ⑤提案活動や引き合いはないが情報収集や市場調査を進めている
* ⑥特に積極的な活動はしていない
* ⑦把握できていない

問12．貴社は今後どのようなビジネススタイルを目指していきたいとお考えですか。それぞれの項目についてお答えください（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～12の各項目について、①～⑤から該当するものを１つ選び、回答欄に番号を記入してください

1. そう思う
2. ややそう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. そう思わない

### システム企画以前の段階からユーザと協働する 回答欄【　　　　】

### ビジネス課題の解決に向けてユーザと共に試行錯誤する 回答欄【　　　　】

### マーケティングなどシステム開発以外の面を補佐する 回答欄【　　　　】

### パッケージやプラットフォーム開発を推進し受託型から脱却する 回答欄【　　　　】

### ユーザの内製を前提としたパッケージやプラットフォームを開発・提供する 回答欄【　　　　】

### ユーザの支援でなく自らがユーザと同じ立場でビジネスを展開する 回答欄【　　　　】

### 成果報酬契約等により事業リスクをユーザと分かち合う 回答欄【　　　　】

### ユーザのビジネス推進に必要な他のサービス提供者との仲立ちを行う 回答欄【　　　　】

### ITの新しい利用形態に即座に対応する 回答欄【　　　　】

### スマートシティなどITによる産業や社会の構想に取り組む 回答欄【　　　　】

### 新しいネットワークインフラに対応した技術力を備える 回答欄【　　　　】

### 現行ビジネスの足元を固め堅実に推進する 回答欄【　　　　】

問13．情報サービス産業は産業全体として今後どのようなことに取り組むべきだとお考えですか。それぞれの項目についてお答えください。（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～11の各項目について、①～⑤から該当するものを１つ選び、回答欄に番号を記入してください

1. そう思う
2. ややそう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. そう思わない

### 新しい業務や取引の形態に対応した契約の雛形を制定すべき 回答欄【　　　　】

### グローバルスタンダードとなる技術を日本から発信していくべき 回答欄【　　　　】

### プライバシーやセキュリティの政策的な動きに積極的に関与すべき 回答欄【　　　　】

### 知財活動や国際標準化などを強化すべき 回答欄【　　　　】

### 情報サービス産業とユーザのビジネスマッチングの場を提供すべき 回答欄【　　　　】

### 次々と起こる環境変化を素早くキャッチし情報発信を行うべき 回答欄【　　　　】

### IT利活用の成功事例などの知識を集約しノウハウを共有すべき 回答欄【　　　　】

### 情報サービス産業のグローバル化を支援すべき 回答欄【　　　　】

### 技術者の個々人の生産性向上を啓蒙すべき 回答欄【　　　　】

### 情報サービス産業の働き甲斐や社会的重要性を世に発信すべき 回答欄【　　　　】

### 既存システムの維持管理等を重視する意見に対応すべき 回答欄【　　　　】

問14．貴社の売上比率と最近の売上の増減をお答えください（特定顧客向けDX／汎用ＤＸ／既存システム）

a1. 貴社の売上全体に占める特定顧客向けDX関連の売上の割合をお教えください（一つだけ）

* ①8割以上 □　②6割以上8割未満 □　③4割以上6割未満
* ④2割以上4割未満 □　⑤2割未満

a2. 今後4～5年の間に、貴社の特定顧客向けDX関連の売上は増えると思いますか（一つだけ）

* ①大きく増加するだろう □　②やや増加するだろう □　③ほぼ横ばいだろう
* ④やや減少するだろう □　⑤大きく減少するだろう

b1. 貴社の売上全体に占める汎用DX関連の売上の割合をお教えください（一つだけ）

* ①8割以上 □　②6割以上8割未満 □　③4割以上6割未満
* ④2割以上4割未満 □　⑤2割未満

b2. 今後4～5年の間に、貴社の汎用DX関連の売上は増えると思いますか。（一つだけ）

* ①大きく増加するだろう □　②やや増加するだろう □　③ほぼ横ばいだろう
* ④やや減少するだろう □　⑤大きく減少するだろう

c1. 貴社の売上全体に占める既存システム関連（DX以外）の売上の割合をお教えください（一つだけ）

* ①8割以上 □　②6割以上8割未満 □　③4割以上6割未満
* ④2割以上4割未満 □　⑤2割未満

c2. 今後4～5年の間に、貴社の既存システム関連（DX以外）の売上は増えると思いますか。（一つだけ）

* ①大きく増加するだろう □　②やや増加するだろう □　③ほぼ横ばいだろう
* ④やや減少するだろう □　⑤大きく減少するだろう

問15．貴社の顧客企業のうちDXに取り組んでいる企業の割合をお教えください（一つだけ）

* ①8割以上 □　②6割以上8割未満 □　③4割以上6割未満
* ④2割以上4割未満 □　⑤2割未満

問16．DXを実現する上でのユーザ企業側・情報サービス企業側のさまざまな課題について、評価をお聞かせください。（それぞれ一つずつ）

回答方法）1～11の各項目について、該当する①～④から１つ選び、回答欄に番号を記入してください

1. 大いに問題
2. やや問題
3. それほど問題ではない
4. ほとんど全く問題ではない

a. 【ユーザ企業側】

### 経営層のリーダーシップやコミットが不十分であること 回答欄【　　　　】

### プロジェクトに対する事業部門のオーナーシップの不足 回答欄【　　　　】

### プロジェクトに対する情報システム部門の協力関係の不足 回答欄【　　　　】

### DXを担う能力のあるIT人材の不足、スキルシフトの困難さ 回答欄【　　　　】

### 構想・企画が曖昧なこと　　 回答欄【　　　　】

### 従来の商習慣から共創・協業などへと転換する意識が低いこと 回答欄【　　　　】

b. 【情報サービス企業側】

### DXを担う能力のあるIT人材の不足、スキルシフトの困難さ 回答欄【　　　　】

### 構想・企画フェーズへ参入する力（チャネルやスキル）の不足 回答欄【　　　　】

### 受託から共創・協業へのビジネスモデル転換の困難さ 回答欄【　　　　】

### 既存事業と切り分けたDX戦略の打ち出し不足 回答欄【　　　　】

### DXに対する投資的姿勢の不足 回答欄【　　　　】

問17．経済産業省DX研究会「DXレポート」で指摘されている「2025年の崖」＝「DXが実現できず、巨額の経済損失が発生する可能性」について、お考えをお聞かせください（一つだけ）

* ①可能性は非常に大きい □　②可能性はやや大きい □　③可能性はやや小さい
* ④可能性は非常に小さい □　⑤わからない

問18．最後に、情報サービス産業の現状や今後の見通し、業界として取り組むべき事柄等について、ご自由に意見をお聞かせください。

|  |
| --- |
|  |

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。